

市の教員の働き方改革進捗状況

○校務支援システムの導入…学籍・出欠・成績等の児童・生徒の情報を一元管理できた▽一同に集まりにくい教員間での情報共有が行いやすくなり、業務量の多い副校長は掲示板機能を使って他校との連絡等ができた ○学力パワーアップサポーター、スクール・サポート・スタッフ（SSS）等の配置…学力パワーアップサポーターは授業の個別支援や放課後の補習学習を行う等の教員補助を、SSSは印刷業務や感染症対策の消毒作業等を行うことで、教員が児童・生徒への指導や教材研究等に注力できるようになった ○給食時等の対応の充実…給食時等のアレルギー発生時に教員以外の職員も対応できるよう、教員以外の職員を対象に研修を実施した ○ライフ・ワーク・バランスを実現する環境整備…例年8月に学校閉庁日の設定を行い、5日間の夏季休暇を教員が確実に取得できるようになった ○出退勤管理システムの導入…時間外在校等時間が客観的に把握でき、効率的に業務を行うという教員の意識が向上した ○部活動の負担軽減…部活動ガイドラインにより生徒が週当たり2日間以上の休養等を適切に取り、短時間で効果的な活動を実施できた▽地域人材である部活動指導員が中学校全校に配置され、教師の負担軽減につながった



効果確かめながら進めていきます

※詳しくは指導室 ☎470・7781へ。

（1面から続く）

○岡田校長 今でも心掛けていたことがあり、人ではできない理由を考へることは得意で、誰でもすぐに考え付く。先ずは、どうしたらできるようなのかを考へることが大事だよ」と指導していただきました。「難しいです。できません」と先ずは、どうしたらできるようなのかを考へる（笑）。

「指導主事時代に経験する事務や調整等のスキルが教員に戻った時にも生かされることがあるので、指導主事という職務が法律により定められているんでしょか」

○岡田校長 私の場合ですが、指導主事時代に日々学校を訪問し、校長先生の経営方法や授業を数多く参観できたことでいろいろなことを学び、学校現場に戻った時に生かされています。教育行政も経験したことで教育委員会の役割を学ぶことができ、教育委員会と学校が手を携へ、自校の教育

だけでなく、市全体の教育を向上させていくことが重要であると身をもって感じています。「現在、指導主事の事に就かれていた教員の皆さんに向けてメッセージをお願ひします」

○岡田校長 「がんばれ」の一言だけではすみません。大変なことが分かっていますから。なので、大変な時には遠慮しないで周囲の力を借りたらいと思ひます。教員は子どもたちに対して指導や助言をする立場になりますから、自分のことになると遠慮してしまうというか、周囲の助けを借りにくいのかもしれません。それと、「学校と教育委員会のパイプ役」であることに誇りをもって仕事をするためにも、できれば毎日、学校を訪問してほしいと思ひます。指導主事は学校運営の支援や相談を担う立場にいますが、仕事の進め方に困ったら、逆に学校現場を訪れ、校長、副校長や教員の話を聞いて

疑問に立ち戻ってみるというか、相手の懐に入ると言うか、そういうことがあつてもいいのではないかと思ひます。「小学6年生だった岡田少年の揺るぎない思いが全うされ、なりたかった職業に就かれたことを伺い、「キャリア教育」の大切さも感じました。小山小学校は今年度は「キャリア教育」の研究推進校になっています。子どもの時に将来どんな職業に就きたいかという思いを馳せることは楽しいですし、日々の学業の励みにもつながると思ひますので大事ですね」

○岡田校長 本日に教育界一筋でした（しみじみ）。指導主事になりこまできましたが、教員だけではないいろいろな立場を経験できて、仕事だけでなく、人生における自分の幅が広がりました。このことは自信をもって言えます。

本校で進めているキャリア教育も、子どもたちが様々なことにチャレンジ

ジして、たくさん経験ができるように取り組んでいます。そのためには、やはり子どもたちが主体的に人と関わりながら考えていくことが大切だと思ひます。自分で考へて何かをやり遂げたとき、ものすごい自信となり自己肯定感も高まるのではないかと思ひます。なりたい自分を目指して、自らの力を高めていってほしいですね。

市立南中学校の  
小川高弘校長に聞く

「教員の多忙な働き方が大きな問題となり、本市でも改善を進めています。職場は異なりますが、同じ教員である指導主事が、学校と教育委員会のパイプ役という重要な業務仕事をしていきます。学校から見ると「指導主事」はどういう存在ですか」

○小川校長 指導主事と学校との関わりは多くは学校経営への支援の面で、副校長とのやり取りが中心になります。副

校長には、日々、市や都の教育委員会に提出する書類作成業務があり、都は市の教育委員会が確認します。文字どおり、指導主事が都教委と学校のパイプ役となっています。

管理職になる前は、指導主事と接する機会がごく僅かです。初任者時代から3年目までの若手教員研修には担当の指導主事がつきませんが、その後には会う機会が少なくなりました。本市の指導室訪問は年に1回なので、市教委主催の会議等に参加しない教員は指導主事にはほとんど会いませんね。

教員が指導主事の役割をどの程度知っているかと言うと、「授業を視察して、指導・助言をくれる先生」という印象が強く、それ以上のことは知らないのが正直なところだと思ひます。

「教員を目指している人が描いている教員像に「指導主事」を描いている人は多くないですね」

これまで出会った教員の中で、指導主事を目指す方はごく僅か（わず）かでした。指導主事の職が、教員を目指す人にも、既に教員として働いている人にとつても、見えにくい業務の職種だからだと思ひます。

若手教員に指導主事の仕事をやってみたいか聞くと、「今はとにかく授業が大事。教師としての仕事を覚えることが先です！」という答えが返っ

る時はベストな内容をというプライドもあると思ひます。「そういう前向きな気持ちを持つことはどの職業にとつても大事だと思ひますし、「期待に応えたい」ということも目標になりますね」

そうですね。でも、体調を崩すほどの無理はせず、自分に与えられた時間と仕事を計画的に、楽しんでこなしてほしいと思ひます。こつと言えりか分かりませんが、「各学校への指導や助言を行う」という指導主事の業務には学校の様子や課題などを把握しておくことが必須ですから、学校と指導主事の間コミュニケーションを大事にした方がいいと思ひます。

「現状では公立学校の教員数の確保が先だと思ひますが、誰かが「指導主事」になることが求められていきます。指導主事になろうと思ひている教員に向けてのメッセージをお願ひします」

指導主事の仕事には、教育行政の事務仕事だけでなく、主として学校や教員に対する指導・助言の若手教員は、教員としての指導力を高めることが先ずは大事です。それから自分の知識と経験を積み重ねて、目の前の児童・生徒を育てるだけでなく、「児童・生徒を育てる教員」を育てる。という考えに変わってくると、指導主事も視野に入ってくるのではないかと

と思ひます。私は副校長からすぐに校長にならずに、短期間でしたが教育委員会が統括指導主事として勤めたことで、それまでとは違う視点から学校を見ることができました。自身の経験からですが、一度は、新しい視点から学校を見てみることは大いにありだと思ひています。

市教育委員会の橋田克之指導室長に、指導主事に期待していることについて伺いました。

「指導主事の業務が非常に多いことは、指導主事を経験してきた私もそう感じてもらっています。指導主事が対応する業務には担当する調整事務のほか、保護者からの問い合わせの電話対応が相当あります。内容の多くは学校に対するご意見やご要望で、先生のこと、授業のこと、学校の友だちのことなど、学校生活全般にわたっています。直接、学校にお話していただいた方が迅速かつ適切な対応が取れる場合が多いのですが、指導室に電話やメールが入った場合は、先ずは指導主事が受けています。同時に幾つもの相談に対応しているのが現状です。空いた時間で、ようやく本来の職務である、教

員の研修等の充実や授業改善に関する調査研究を行っています。毎日、頻りに電話や窓口での対応に追われている様子を見ているので、保護者の皆様にもご理解をいただきたく、「指導主事」の業務改善も速やかに対応すべき働き方改革の課題として捉えています。

今号では岡田校長先生と小川校長先生から指導主事へのエールを送っていただいたと、指導主事ともども受け止めています。指導主事は学校と教育委員会の関わりにおけるパイプ役であると思ひていますが、ここ2年間は初めての課題であるコロナ禍の対応などに集中しがちで十分にその役割を果たせられず、学校の期待に応えられていない部分もあつたと思ひます。

指導主事の働きによって学校が変わり、教員が元気になることが子どもたちのためになる。と、私は指導主事時代に言われました。指導主事の職をこなし、教員としての力をさらに培ってほしいと思ひています。指導主事の業務内容をさらに精査し、指導主事が学校に戻ってからも生き生きと仕事ができるよう見守っていきます。」

【編集後記】教育委員会だよりは創刊から60号を迎えました。年2回のほそぼそとした発行ですが、紙点が線になるような紙面づくりを目指します。

市教育委員会の橋田克之指導室長に、指導主事に期待していることについて伺いました。

「指導主事の業務が非常に多いことは、指導主事を経験してきた私もそう感じてもらっています。指導主事が対応する業務には担当する調整事務のほか、保護者からの問い合わせの電話対応が相当あります。内容の多くは学校に対するご意見やご要望で、先生のこと、授業のこと、学校の友だちのことなど、学校生活全般にわたっています。直接、学校にお話していただいた方が迅速かつ適切な対応が取れる場合が多いのですが、指導室に電話やメールが入った場合は、先ずは指導主事が受けています。同時に幾つもの相談に対応しているのが現状です。空いた時間で、ようやく本来の職務である、教

員の研修等の充実や授業改善に関する調査研究を行っています。毎日、頻りに電話や窓口での対応に追われている様子を見ているので、保護者の皆様にもご理解をいただきたく、「指導主事」の業務改善も速やかに対応すべき働き方改革の課題として捉えています。

今号では岡田校長先生と小川校長先生から指導主事へのエールを送っていただいたと、指導主事ともども受け止めています。指導主事は学校と教育委員会の関わりにおけるパイプ役であると思ひていますが、ここ2年間は初めての課題であるコロナ禍の対応などに集中しがちで十分にその役割を果たせられず、学校の期待に応えられていない部分もあつたと思ひます。

指導主事の働きによって学校が変わり、教員が元気になることが子どもたちのためになる。と、私は指導主事時代に言われました。指導主事の職をこなし、教員としての力をさらに培ってほしいと思ひています。指導主事の業務内容をさらに精査し、指導主事が学校に戻ってからも生き生きと仕事ができるよう見守っていきます。」

【編集後記】教育委員会だよりは創刊から60号を迎えました。年2回のほそぼそとした発行ですが、紙点が線になるような紙面づくりを目指します。

市教育委員会の橋田克之指導室長に、指導主事に期待していることについて伺いました。

「指導主事の業務が非常に多いことは、指導主事を経験してきた私もそう感じてもらっています。指導主事が対応する業務には担当する調整事務のほか、保護者からの問い合わせの電話対応が相当あります。内容の多くは学校に対するご意見やご要望で、先生のこと、授業のこと、学校の友だちのことなど、学校生活全般にわたっています。直接、学校にお話していただいた方が迅速かつ適切な対応が取れる場合が多いのですが、指導室に電話やメールが入った場合は、先ずは指導主事が受けています。同時に幾つもの相談に対応しているのが現状です。空いた時間で、ようやく本来の職務である、教

員の研修等の充実や授業改善に関する調査研究を行っています。毎日、頻りに電話や窓口での対応に追われている様子を見ているので、保護者の皆様にもご理解をいただきたく、「指導主事」の業務改善も速やかに対応すべき働き方改革の課題として捉えています。

今号では岡田校長先生と小川校長先生から指導主事へのエールを送っていただいたと、指導主事ともども受け止めています。指導主事は学校と教育委員会の関わりにおけるパイプ役であると思ひていますが、ここ2年間は初めての課題であるコロナ禍の対応などに集中しがちで十分にその役割を果たせられず、学校の期待に応えられていない部分もあつたと思ひます。

指導主事の働きによって学校が変わり、教員が元気になることが子どもたちのためになる。と、私は指導主事時代に言われました。指導主事の職をこなし、教員としての力をさらに培ってほしいと思ひています。指導主事の業務内容をさらに精査し、指導主事が学校に戻ってからも生き生きと仕事ができるよう見守っていきます。」

【編集後記】教育委員会だよりは創刊から60号を迎えました。年2回のほそぼそとした発行ですが、紙点が線になるような紙面づくりを目指します。

【編集後記】教育委員会だよりは創刊から60号を迎えました。年2回のほそぼそとした発行ですが、紙点が線になるような紙面づくりを目指します。